

平成30年度 第1回 監査委員会 議事録

開催日時	平成30年10月2日(火)午後5時00分～午後7時00分	
場所	杏林大学医学部附属病院会議室B(第2病棟2階)	
出席者	委員長	窪川 良廣 (くぼかわ内科医院院長、三鷹市医師会理事)
	委員	大瀧 純一 (学校法人杏林学園理事、杏林大学長)
		齊藤 浩司 (三鷹市健康福祉部 保健医療担当部長)
		橋本 雄太郎 (杏林大学大学院国際協力研究科客員教授)
		山口 育子 (認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長)
	オブザーバー	市村 正一 (杏林大学医学部附属病院病院長)
		正木 忠彦 (杏林大学医学部附属病院副院長、医療安全管理部長)
		大荷 満生 (杏林大学医学部附属病院医療安全推進室長)
		篠原 高雄 (杏林大学医学部附属病院薬剤部長、医薬品安全管理責任者)
		田村 勝彦 (杏林大学医学部附属病院医療安全推進室専従薬剤師)
		北原 るり子 (杏林大学医学部附属病院専任リスクマネージャー)
		古田 志津江 (杏林大学医学部附属病院専任リスクマネージャー)
		内田 貴之 (杏林大学医学部附属病院専任リスクマネージャー)
		山崎 昭 (杏林大学医学部附属病院医療安全管理部調査役)
		中野 貴仁 (杏林大学医学部附属病院医療安全管理部課長)
		高野 智博 (杏林大学医学部附属病院医療安全管理部係長)
		佐伯 杏奈 (杏林大学医学部附属病院医療安全管理部事務員)
事務局		小塩 秋彦 (杏林学園総務部副部長)
		駒形 周一郎 (杏林学園総務課課次長)

議 題 医療安全管理体制の現状、医療安全推進のための活動状況

監査項目 医療安全マニュアルの改善状況、インシデントレポート報告状況(医師の報告件数)、
医学部学生の医療安全教育の状況、職員研修の工夫、
画像診断結果の未読防止の工夫、
高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等を用いた医療の提供実績、その他

監査結果・委員からの講評

1. 医療安全マニュアルは、前年度と比較して見やすくなった。冊子の大きさや色等の工夫を引き続き検討していただきたい。
2. 医師のインシデントレポート報告がやや増加した。更に報告の増加に努めていただきたい。なお、紙媒体でのインシデントレポート提出の工夫、上級医からインシデントレポート提出をすすめる仕組みの検討、多職種のコミュニケーションを推進する工夫、学生への医療安全教育の継続も望まれる。
3. 講習会の確認テストは、正答率100%を目指して取り組むことが望まれる。また、間違った場合のフィードバック方法を検討していただきたい。
4. 画像診断報告書の未読防止の工夫を検討していただきたい。

以上